

2020年 12月 27日 《年末感謝礼拝》

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③13時半 ④19時

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽
祈 禱 ②白川 達男兄

賛 美 聖歌292番 ～御手の中で～

パウロの祈り①

聖書朗読 詩篇34篇4～9節

特別賛美 香月夫妻

メッセージ 「2020年の恵みを想う」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌229番「アメイジンググレイス」

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ～平和初めて知った～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします! ☆
《今週のお知らせ》

- ★本日は今年最後の礼拝です。この一年が守られたことを主に感謝しましょう!
- ☆今週の祈り会は ○早天祈祷会：明朝6時。○準備祈祷会：土曜夜8時。
- ★初詣礼拝は、1日午前11時のみ（ライブ放映）。メッセージ：大川牧師。
- ☆来週の日曜礼拝は、午前11時のみ（ライブ放映）。メッセージ：ポーマン師。
- ★今年も一年守られたことを感謝して「年末感謝献金」をお捧げ致しましょう!

《 予 告 》 1/10(日)誕生祝福式・1/17(日)聖餐式

☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [12/27-1/3]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約						創1-2	3-5	6-8
新約	黙示1-5	5-10	11-15	16-18	19-22	マタイ1	2	3
チェック	○○○○○	○○○ ○○	○○○ ○○	○○○	○○○ ○	○○○	○○○ ○	○○○ ○

「2020年の恵みを想う」

～主の御声を聴く～

「正しい者が助けを叫び求めるとき、主は聞いて、彼らをそのすべての悩みから助け出される。主は心の砕けた者に近く、たましいの悔いにくずおれた者を救われる。正しい者には災いが多い。しかし、主はすべてその中から彼を助け出される。」詩篇34篇17～19節

本日は2020年最後の礼拝です。今年は年頭から「新型コロナウイルス」によって大きく振り回された一年でした。振り回されたというよりも、完全に主導権を奪われて、社会全体も全く別の方向へと向かわざるを得なくなった状況です。しかも、その力は現在も衰えるどころか、ますます勢いを増してきています。

今年与えられたみ言葉は、詩篇34篇8節「主の恵み深きことを味わい知れ、主に寄り頼む人はさいわいである。」でした。今年がスタートしたときには、このみ言葉を頂き、“今年は何んな神様からの恵みをいただけるのだろうか？”と期待に胸をふくらませました。するとどうでしょう。今年は何んな前代未聞の社会現象に見舞われてしまいました。

では、神様の今年与えられた豊かな恵みは一体何だったのでしょうか？実際に豊かに味わい知ったのでしょうか？これはもちろん一言では言えませんし、軽々しく言えるような気持ちにはなれません。その「豊かな恵み」に今回の「新型コロナウイルス」は大きく関係していることは確かです。ダニエル書5章で、バビロン王が、エルサレム神殿から奪ってきた神聖な金銀の器物を使って、大酒宴を催していました。すると、突然神の手が現れて、「メネ、メネ、テケル、ウパルシン」という謎の文字を書きました。それは、そのバビロン王は神の御心にそわないため、その治世は終わりを遂げるという意味のメッセージでした。

今年のクリスマスはとても静かなクリスマスとなりました。なぜなら、午後の祝会ができなかったからです。そればかりでなく、私たちはこの一年間、3月以降、昼食も共に食べることができませんでした。世の中でも、3密を避け、不特定多数の人々と共に食事をするということが難しい状況になりました。ましてや、大人数で大パーティーなどはもっての外という状況となりました。また、好きなところへ出かけるということにも躊躇せざるを得ない状況です。

今年、私たちは強制的に自分自身をとどめられたような状況でした。それは、世界的に放たれた神のメッセージでした。「静まって、わたしが神であることを知れ。“Stop fighting”詩篇46:10」。主がその力強い御手を持って強制的に人類全体の歩みをストップさせられたかのように思います。断食祈禱は自分の方で強制的に食を断つことですが、今回は神様の方から強制的に人類に対して断食するように、悔い改めるように、心を変えるように、神の御声を聴くように導かれているのだろうと感じています。